



地域活性化連携事業「交流サロン型サービス」モデル事業in盛岡

健康で楽しく暮らすテーマの『交流サロン』へ期待高まる！

12月10日、盛岡市大慈寺町の「大慈寺御休み処」において、第2回目の『交流サロン型サービス』が開催され、若手県生活衛生同業組合所属のプロの講師達による各専門分野の講義が行われ、大慈寺町内の方々が和やかな中で熱心に耳を傾けました。

モデル事業の実態

この事業は厚生労働省の補助を受けて昨年度から実施されているもので、若手県生活衛生同業組合が主幹となり、各生活衛生同業組合が連携して取り組んでいます。サロン開始の冒頭、主催者代表あいさつでは若手県生活衛生同業組合の鈴木久樹理事長が「高齢者の皆さんが、いつまでも元気で楽しく、明るく暮らしていけるよう、各組合に所属し現場で活躍するプロに来ていただき、楽しく体験をしていただければ幸いです」と趣旨説明を行い、各講師の紹介がありました。

笑顔あふれる参加者たち

今回は5講義が行われ、内容も盛りだくさんで、失敗しない家庭洗濯の仕方「おいしい手の子汁の作り方」「おいしいコーヒーの入れ方（上級編）」では話術に質問が飛び出し、「頭皮診断」では希望者がマイクロスコップ診断を体験、髪をいたわることの大切さを学びました。最後の講義では16名の参加者全員が本巻き寿司を和気あいあいと作りあげ、同時に供された手の子汁とコーヒーを試食しました。

地域住民の交流の場として期待

参加者からは「プロに教わるという貴重な体験で、生活に生かしたい」「日頃、ふれあいが少ない中、良い交流の場となった。数多く開催してほしい。次回があれば必ず参加します」と大きな期待が寄せられました。モデル事業ではあるものの、住民の関心は大きく、今後の事業の拡大と継続が望まれています。

若手県生活衛生同業組合は、「生活衛生同業組合の発展のために、生活衛生同業組合員者によりつくり出された組合で、若手県生活衛生同業組合の発展と、県民生活の向上を目的として設立された」として、県民生活の向上を目的として設立された。県民生活の向上を目的として設立された。県民生活の向上を目的として設立された。

講習の様子

理容組合

《頭皮診断＆シャンプーの仕方》

講師：
管理棟奉・盛岡支部長の
坂本弘幸さん
(ヘア・ファッション・ウェル)と
磐石支部の
千葉明美さん
(関巻ちば)

マイクロスコープで頭皮の状態をチェック

クリーニング組合

《失敗しない家庭洗濯の仕方》

講師：
県理事の
林仲介さん
(はやくクリーニング)

油の染みたペーパーを3種類の洗剤に漬けて実験

すし業組合

《おいしい本巻き寿司の作り方》

講師：
県専務理事・
盛岡支部長の
斎藤剛一さん
(三陸浜料理一の〇)

アドバイスを受けながら寿司づくりを実践

料理業組合

《おいしい手の子汁の作り方》

講師：盛岡支部監事の小松平信久さん(和久)

使用する調味料の種類・配分について説明

社交飲食業組合

《おいしいコーヒーの入れ方(上級編)》

講師：県理事の浅見浩樹さん(バノカ)

豆の保存方法からコーヒーの注ぎ方まで指南